



令和2年8月13日

多治見高校トピックス 多治魂セミナーNo.10 ～栄養学×国際支援×NPO 代表～

第10回が多治魂セミナーは令和2年7月20日(月)の放課後に、国際協力機構(JICA)南アジア部でインドとブータンを担当されている塚原絵理さんをお招きし、講演会をオンラインで開催しました。多治見北高校の生徒10名、恵那高校の生徒8名、多治見高校の生徒1名が参加しました。

塚原さんは大学進学を考える際に、幼いころからご家族と栄養のことをよく話題に話しており、自身も興味があったことから栄養学が学べる大学へ進学されました。進学した大学で国際支援と出会い、国際支援のNPOを立ち上げるという目標をもたれました。大学では管理栄養士の資格を取得し、大学卒業後は食品会社や病院勤務を経て国際支援のNPOを立ち上げられました。

会では、大学進学から現在の国際協力機構の仕事に就くまでの話、国際支援の最前線で取り組まれているお仕事の話を中心として熱く語っていただきました。



左：塚原さん、右：塚原さんのNPOが支援するAOZORA schoolの児童

<生徒の感想>

・一人の人生なのに、栄養学、国際支援という2つのことに取り組まれており、二人分生きているようで充実していて羨ましいと思いました。大学生の時の経験から今の仕事があるということで、大人になるまでの残り数年間、私もいろいろな経験をしたいと思いました。自分の好きなことを勉強し続けるというのは今からでもできるので、実行したいです。

・発展途上国で肥満も問題になっていることを知り、知らないことがたくさんあることを実感しました。大学に行く理由は学歴のための部分が多いけれど、夢をかなえるために必要なことを学ぶためだと思うとモチベーションを上げやすくと分かりました。

留学には全く興味がなかったけれど、ワーキングホリデーや留学すると英語が身につくことが分かったので、少し調べてみたいと思いました。

・塚原さんの行動力がすごいと思いました。自分がやりたいと思ったことをすぐに実行する姿がかっこよかったです。何よりも自分がやりたいとおもったことが不安定なことであっても、自分の思いに素直になって行動し、その時に自分に必要なことを身につけていることは見習いたいです。

最近勉強の“価値”について考えてしまうことが増えて迷っていたけれど、本当の価値は今は分からない、後で気づくものだと思います。今は勉強も経験だとして毎日続けたいと思いました。

たじこん
多治魂セミナーとは…多治見高校では、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらう

ために、大学などの研究機関や企業で「熱い思い」をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただいています。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めにとって、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。

担当：佐賀達矢